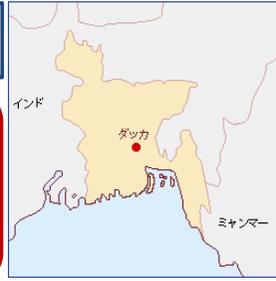




## バングラデシュ人民共和国 (People's Republic of Bangladesh)



- 日本は、西側諸国に先駆けて1972年にバングラデシュの独立を承認して以降、一貫して友好関係を保ち、主要ドナーとしてバングラデシュの経済社会開発に積極的に関与。
- 2014年5月及び9月の日・バングラデシュ首脳会談において、2014年より概ね4年から5年を目途に、バングラデシュに対し最大6,000億円の支援を表明し、「2021年までの中所得国化」実現に向けた取組を全面的に支援。

### 国概要

#### (基礎データ)

- ・ 面積: 約14.7万平方キロメートル (日本の約4割)
  - ・ 人口: 約1億6,000万人 (海外労働者を含む推定, 2015年) 約1億5,940万人 (国内在住者数, 2015年)
  - ・ 首都: ダッカ
  - ・ 民族: 人口の多くがベンガル人 (その他, 南東部を中心に少数民族が在住)
  - ・ 言語: ベンガル語
  - ・ 宗教: イスラム教 (約9割), その他 (ヒンドゥー教, 仏教, キリスト教)
  - ・ 政体: 共和制
  - ・ 議会: 一院制
  - ・ 一人あたりGDP: 1,235ドル (2015年度, バングラデシュ統計局)
  - ・ 経済成長率: 6.55% (2015年度)
- ※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

#### (略史)

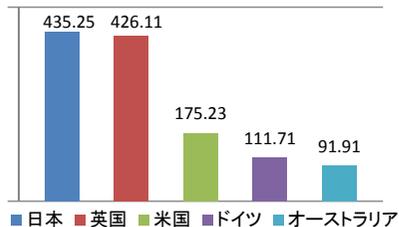
1947年	英領インドより、パキスタンの一部(東パキスタン)として独立
1971年	バングラデシュとして独立を宣言(パキスタンとの戦争開始)
1975年	クーデターによる大統領暗殺を経て、しばらく軍政が続く
1990年	約8年続いたエルシヤド政権(軍政)が退陣し、民主化(議院内閣制へ移行)
2009年	ハシナ政権(第2期)発足
2014年	ハシナ政権(第3期)発足

### 援助実績(E/Nベース)

スキーム	額(累計)/人数(延べ)
円借款	10,666.35億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	4,777.73億円 (2014年度末時点)
技術協力	794.66億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ1,264人 (2016年11月時点で0人)
シニア海外ボランティア	延べ20人 (2016年11月時点で0人)

出典: ODA国別データブック2015  
青年海外協力隊事務局統計(平成28年11月末)  
(注)青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

### 主要ドナーの対バングラデシュ経済協力実績 (2013年, 出典: ODA国別データブック2015) (単位: 百万ドル, 支出総額ベース)



### 経済関係

スキーム	金額/人数(直近年)
日本からバングラデシュへの輸出	1,373 (単位: 百万ドル) (2015年, JETRO資料)
バングラデシュから日本への輸出	1,081 (単位: 百万ドル) (2015年, JETRO資料)
日本からバングラデシュへの直接投資	45.4 (単位: 百万ドル) (2015年, JETRO資料)
在バングラデシュ日系企業数	243社 (2015年, 外務省)

### 人的つながり

項目	人数(直近年)
バングラデシュにおける在留邦人数	985人 (2015年, 外務省)
在日バングラデシュ人数	9,641人 (2015年6月, 入国管理局)
バングラデシュから日本への留学生数	1,912名 (2015年, 法務省)
日本からバングラデシュへの観光客数	4,456人 (2013年, 日本政府観光局)

## 日本とバングラデシュ人民共和国との協力年表

年代	案件
1971年12月	パキスタンから独立
1972年2月	日本側、バングラデシュを承認
1973年3月	青年海外協力隊派遣取極締結
1977年9月28日	日航機ハイジャック事件
1980年代	農業・農村開発に向けた支援開始
1988年	無償資金協力により気象レーダー施設建設などの気象観測網の整備開始
1990年12月	平和裡に民主化に移行
1998年	ジャマナ橋完成(全長48km, 事業費約750億円(円借款216億円))
2002年12月	技術協力協定締結
2014年3月	岸田外務大臣のバングラデシュ訪問
2014年5月	「包括的パートナーシップ」立ち上げ 対バングラデシュ第35次円借款(5案件, 1,209.86億円)に関する書簡の交換
2014年9月	安倍総理のバングラデシュ訪問 「ベンガル湾産業成長地帯(BIG-B)」構想を中心に経済協力を進めることに合意
2015年12月	対バングラデシュ第36次円借款(6案件, 合計1,332.65億円)に関する書簡の交換
2016年6月	対バングラデシュ第37次円借款(6案件, 1,735.38億円)に関する書簡の交換
2016年7月1日	ダッカ襲撃テロ事件発生, 邦人の援助関係者死亡
2016年7月	ダッカ襲撃テロ事件犠牲者の志を継ぎ, ODAの継続を表明(日バ首脳会談)



1973年 ムジブル・ラーマン首相(初代大統領)が日本を公式訪問



ジャマナ橋

後にボンゴボンドウ橋(「ボンゴボンドウ」は「バングラの友」の意で初代大統領でハシナ首相の父親であるムジブル・ラーマンの愛称)に改称。バングラデシュで流通する100タカ(約130円)紙幣のデザインとなり、友好関係のシンボルの一つ。



母子保健/保健システム強化への協力(MDGs達成, SDGsに向けた支援)



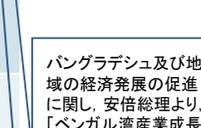
防災・気候変動対策への協力(5基の気象レーダー建設, 117棟のサイクロンシェルター建設等)



農村部における連結性の向上, 食糧需要増・食の多様化に対応する支援



基礎教育への支援(MDGs)



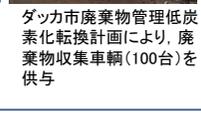
バングラデシュ及び地域の経済発展の促進に関し, 安倍総理より, 「ベンガル湾産業成長地帯構想(BIG-B)」を提案し, 概ね4~5年間で約6,000億円の経済協力を行う用意がある旨表明。



行財政能力(ガバナンス)向上への協力



ダッカ市廃棄物管理低炭素化転換計画により, 廃棄物収集車輦(100台)を供与



安倍総理より, 「ベンガル湾産業成長地帯(BIG-B)」構想について, バングラデシュの経済インフラ整備, 投資環境整備, 地域連結性支援への協力を旨とするものであり, 経済政策協議を強化し, この構想の具体化を進めていきたい旨表明。



電力安定供給プログラム(マタパリ超々臨界圧石炭火力発電事業等)



2014年5月のハシナ首相の訪日